

司法書士歴 21年目 育児に奮闘中

佐藤 けんたろう

～江南に あふれる活気 創ります！～

◆家族

・妻（滝中・滝高卒）、3歳の息子（江南厚生病院生まれ）

◆学歴・経歴

- ・法政大学卒業→旭化成ホームズ入社。ヘーベルハウスの営業担当として、退職までの毎年、社内表彰を受ける。
- ・司法書士歴21年目・開業20年目（最大15名規模）。頂いた相談数は1万5千件を超え、1,000通以上の感謝のお声や手紙を頂く。**これまで大切にしてきた「人の声に耳を傾け、困りごとに向き合う姿勢」を江南市政に生かします。**
- ・日本経済新聞やテレビで取り上げられる他、日経マネーなどの記事を監修する。高校・地域包括支援センター・図書館、生命保険会社などでの講演実績多数。
- ・党員の皆様の要請もあり、令和6年（参政党公認）衆議院議員選挙に立候補。（現在は無所属）。



▲昭和50年（1975年）生まれ

『佐藤 けんたろう』の江南市の政策

～私、佐藤けんたろうが目指すのは、「江南に住み続けたい」と思ってもらえるまちづくりです。～
このために、3つのことに取り組みます。

① 各世代が安心して暮らせる江南へ ②江南の経済を活性化 ③江南を誇りに思う子どもを育てる

この3つを実現するための具体的な政策が、以下の5つの重点政策です。

1「江南駅前の整備・開発」 江南の玄関口として、食料品店・日用品店などを誘致して利便性を高めます。市役所東～江南駅～宮後町の鉄道高架化を目指し、渋滞解消と交通安全につなげます。

2「子育て世代と、ご年配の方の暮らしを市が支援」

①**子育ての支援**⇒3歳以下の子どもを育てる家庭への現金給付や、子育て世代の税負担を軽減。

②**ご年配の方への支援**⇒市内各地と買い物施設・病院を結ぶ巡回バスの実現、
いこまいCARの当日予約を目指します。

③**各世代共通**⇒負担を減らすため、ゴミの分別の簡素化とゴミ回収方法の見直しをします。

3「江南の経済活性化」 市内でお金が循環する仕組みや、特産品・観光・起業支援によって、仕事と活力を生み出し、市の税収基盤を強くします。

4「教育の場の改善」・「江南っこ宣言」をつくり、江南への誇りと愛着を育てます。

- ・江南の歴史・文化を学び、地元の産業・農業に触れる機会を充実させます。
- ・子どもたちが部活動が続けられる環境を守ります。
- ・江南産の食材を活用したオーガニック学校給食を促進します。

5「司法書士の専門性を活かした空き家対策」 空き家の相続・売却・活用まで支援。空き家を貸事務所として起業家に低価格で提供。新たな事業と雇用を生み、将来的な税収増にもつなげます。



▲息子と公園にて

決意文

「政治なんてだれがやっても同じ」以前の私は本気でそう思っていました。でも今はちがいます。志を持って政治に携われれば、江南市をもっと良くできる。私はそう信じています。私が江南で政治を志す理由は大きく二つあります。一つ目は「息子の世代の未来」、二つ目は「江南の未来」です。

令和5年4月、結婚10年目にして待望の第一子の息子を授かりました。江南厚生病院で生まれた息子は、これから江南で育っていきます。この息子の世代に「いい江南を、いい日本を、なんとしてでも残してあげたい。」
「江南に生まれて良かった。江南に住み続けたい。」こう思って育てたい。これが私の願いです。

私は相続手続支援の専門家として、これまで尾張と横浜で1万5千件を超えるご相談を受けてきました。さまざまな地域のご家族と接する中で、故郷への愛着や、人と人とのつながりこそ、まうの大きな財産だと感じてきました。江南には、これがまだ残っています。江南の外で暮らし、さまざまな地域を見てきたからこそ分かる、江南の良さ。私はこれを守り、さらに活気ある江南にしたいです。

そのために、まずは、市民、農家、商店、事業者の方々の経済を豊かにする。これが先決だと考えています。長期的には「子どもたちが江南を誇りに思い、江南を大好きになって育つ。」こんな教育を私は実現したいです。実現されれば「大好きな故郷・江南のために、自分も頑張ろう!」こんな大人たちで江南は溢れかえるようになります。これは、経済や少子・高齢化など、江南が抱える課題の解決に、必ずつながると信じています。息子の世代が「江南に生まれてよかった。」と誇りに思える江南を残す。このために、
佐藤けんたろう は政治に挑みます。

佐藤けんたろう

『佐藤けんたろう』が相続手続きのご依頼を頂いた方からのお手紙

「思い出す度に涙が出ます。うれし涙をありがとうございました。」

佐久間 君子さま（仮名） 50代・女性・会社員

思い出すのは佐藤さんの一言です。書面記入時に「私は何度住所、氏名、死亡日を書いて来たのだろう。早く終わらせたい」緊張と不安の中あせて居りました。「字がきれいですね。」心かゆくなり、うれしくなりました。人に誉められていたのはたまたまいふらく……
その後は相続には関係ない話をしてしまいましたから、気持ちよく耳を傾けて下さいました。後日思い出す度に涙が来ます。うれし涙とありがとうございました。

←妻と息子と佐藤けんたろう。
家族で出かけた時の写真です。

『佐藤けんたろう』のホームページです。⇒
くわしい政策・活動実績などはこちら。



◆佐藤けんたろう 後援会

〒483-8173 江南市尾崎町桐野25番地1 電話 0587-58-5219

